熊本都市道路ネットワーク検討会について

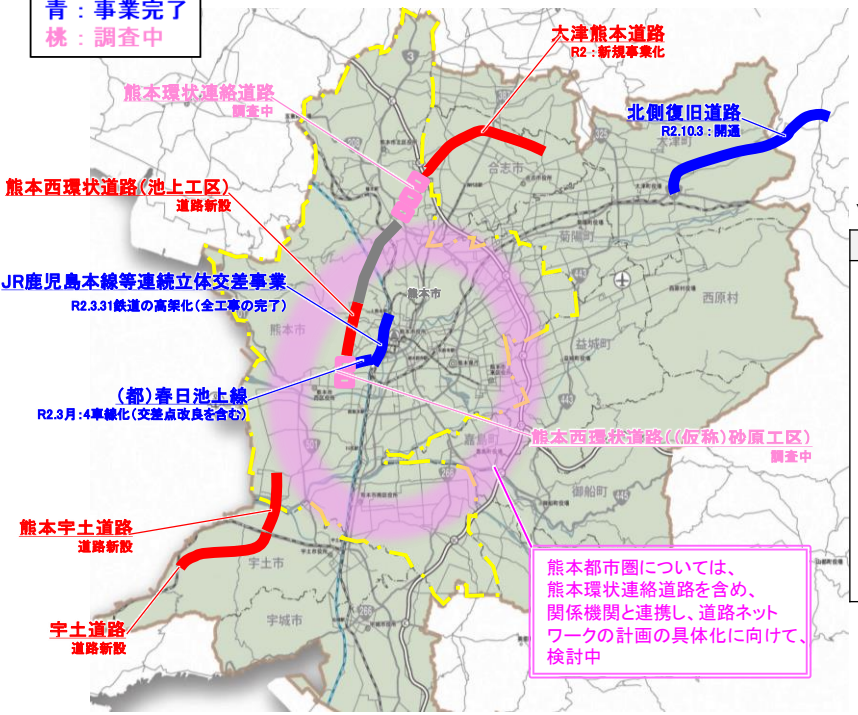
資料16

第4回検討会の報告

令和2年11月	【第4回 熊本都市道路ネットワーク検討会 開催】 ● コロナ情勢下での交通状況の共有や、将来像実現に向けた短期対策を検討

1 道路ネットワークに係る事業進捗について

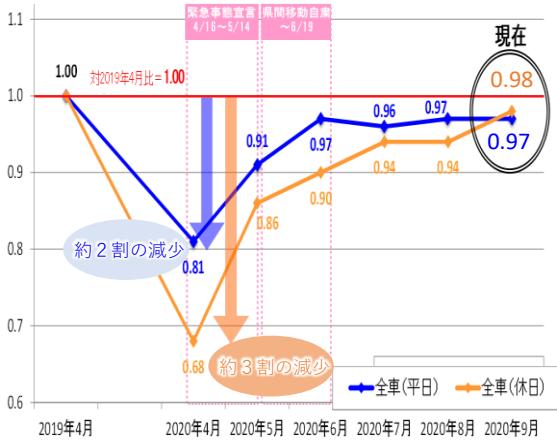
凡例
赤：事業中
青：事業完了
桃：調査中



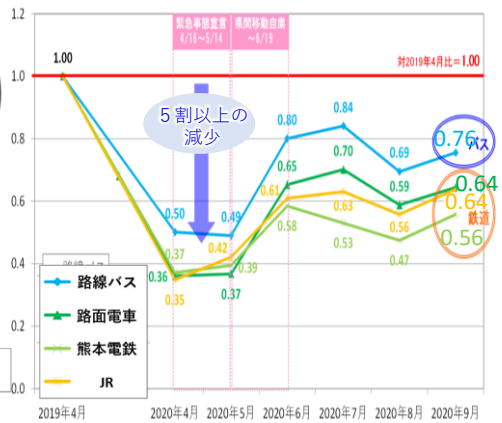
2 コロナ情勢下での交通状況（公共交通・道路交通状況の変化）

- 自動車交通は、コロナ禍以前の状況まで回復しているが、公共交通は未回復。「公共交通から自動車交通へ移動手段が移りゆく可能性」が確認された。（図1、図2参照）
- コロナ禍でも大型車は不変的な交通として活動していたことから「物流交通の不変性・重要性」が確認された。（図3参照）

▼図1 自動車交通の利用台数の変化（対前年４月比）



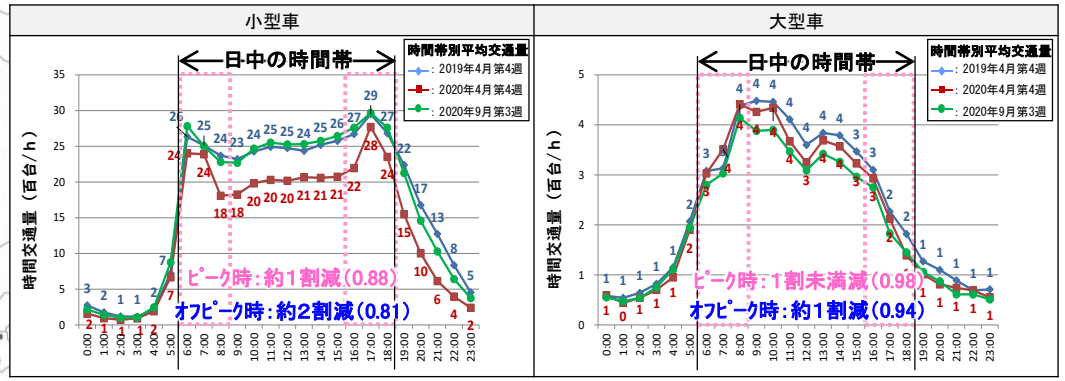
▼図2 公共交通の月別利用者数の変化（対前年４月比）



第4回熊本都市道路ネットワーク検討会資料より

▼図3 自動車交通の時間帯別交通量（平日：小型車・大型車別）

※新南部57号新南部



第4回熊本都市道路ネットワーク検討会資料より

3 今後の取り組みについて

- 新広域道路交通計画は、新型コロナウイルス感染症等の社会変化の可能性に備え柔軟な計画に留意が必要とされているため、今後も分析検討を進める。
- 渋滞対策については、短期対策から新たな道路網構築といった長期対策まで、時間軸を設定した段階的な整備による解決を目指す。
- 短期対策については、主要渋滞箇所における交差点改良や既存ストックを有効活用した対策、パークアンドライド拡大等を推進する。